

令和6年度

宇城市

介護給付費等分析報告書

認定者情報と介護給付データによる

**維持改善率・悪化率**の分析

【概要版】

分析対象期間：平成30年度～令和5年度

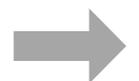
株式会社くまもと健康支援研究所

- ・維持改善率・悪化率の分析においては、既に要介護認定を受けている方が、介護度がどのように変化しているのかを追跡することによって、**認定者の状態の変化を把握**し、また、ケアプラン作成や通所介護・通所リハビリなどの**介護保険サービスが適切に提供されているかどうかの判断材料**とする。
- ・また、**重度化防止や介護給付費の適正化にあたっての課題やポイント、施策のターゲット**となる対象などを把握する材料となる。
- ・分析方法のベースとなるのが、介護度の変化である。認定者ごとに、各年度の4月1日時点の介護度を比較し、介護度が上がっていたら「**悪化（重度化）**」、下がっていたら「**改善（軽度化）**」、変化がなければ「**維持**」とし、これをベースに全体や事業所ごとの維持改善率や悪化率を算定する。

## 介護度の変化の集計イメージ

	被保険者番号	〇〇年4月1日 介護度		翌年4月1日 介護度
Aさん	1000000001	要介護 <b>2</b>	⇒	要介護 <b>3</b>
Bさん	1000000003	要介護 <b>2</b>	⇒	要介護 <b>2</b>
Cさん	1000000007	要介護 <b>2</b>	⇒	要介護 <b>1</b>
...	...	...		...

 **悪化（重度化）**

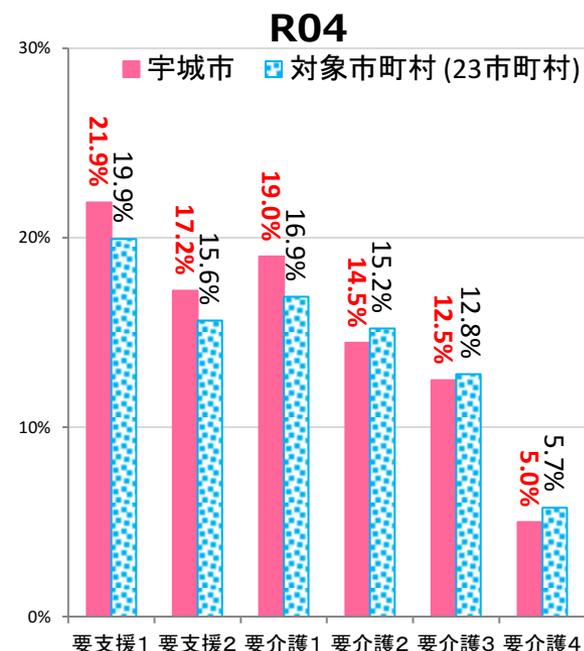
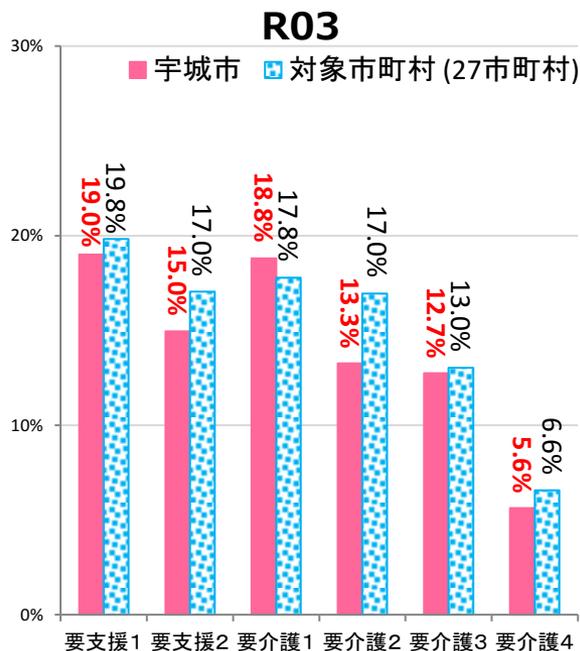
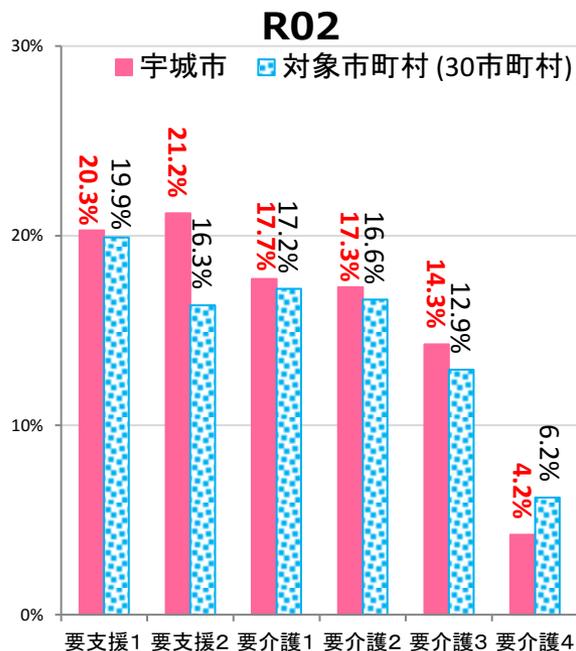
 **維持**

 **改善（軽度化）**

# 認定者の要介護度の変化（保険者比較・全年齢）

- ・宇城市の介護度の悪化率を、弊社データベースによる他市町村平均の悪化率と比較したところ、令和4年度は要支援1～要介護1にて他市町村平均よりも悪化率が高い傾向がみられた。

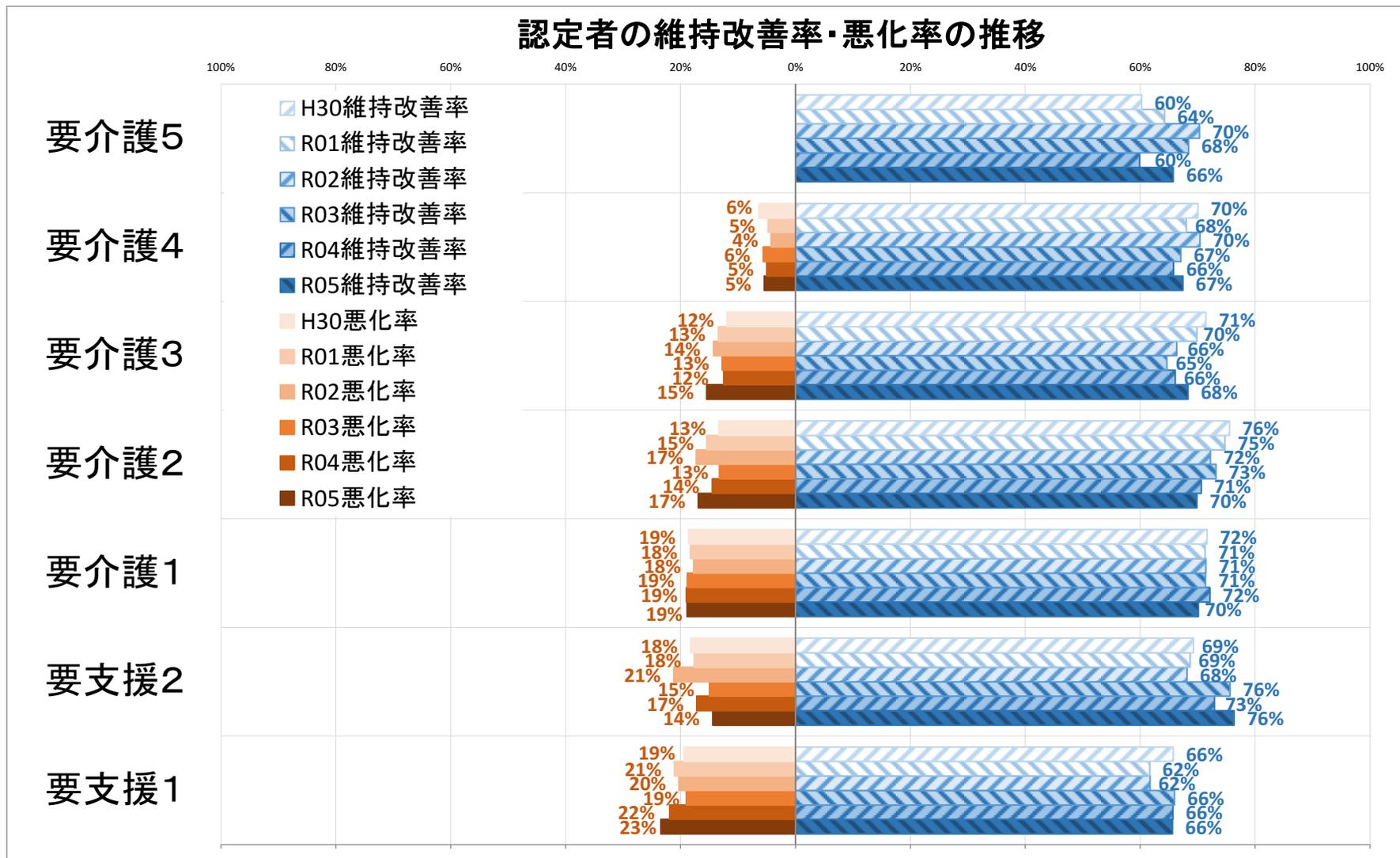
※各市町村で要介護認定における認定期間に大きな差があるため、認定期間の長短の影響を可能な限り小さくする補正を行って、比較している。



# 認定者の要介護度の変化の推移（全年齢）

- ・ 1年間の維持改善率と悪化率の経年推移をみると、要支援1において令和3年度以降悪化率の増加傾向がみられる。

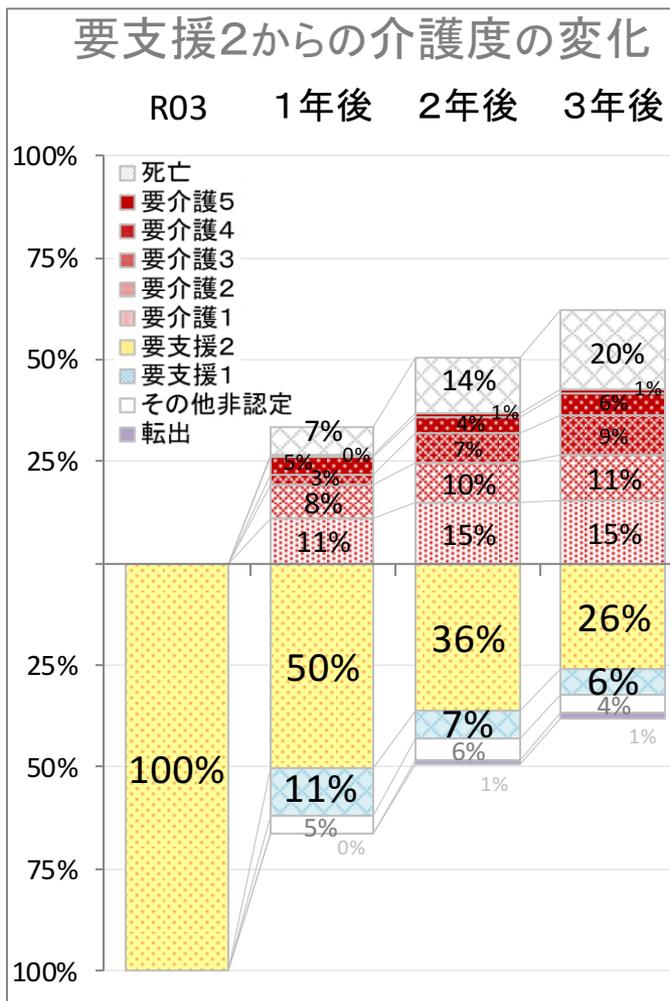
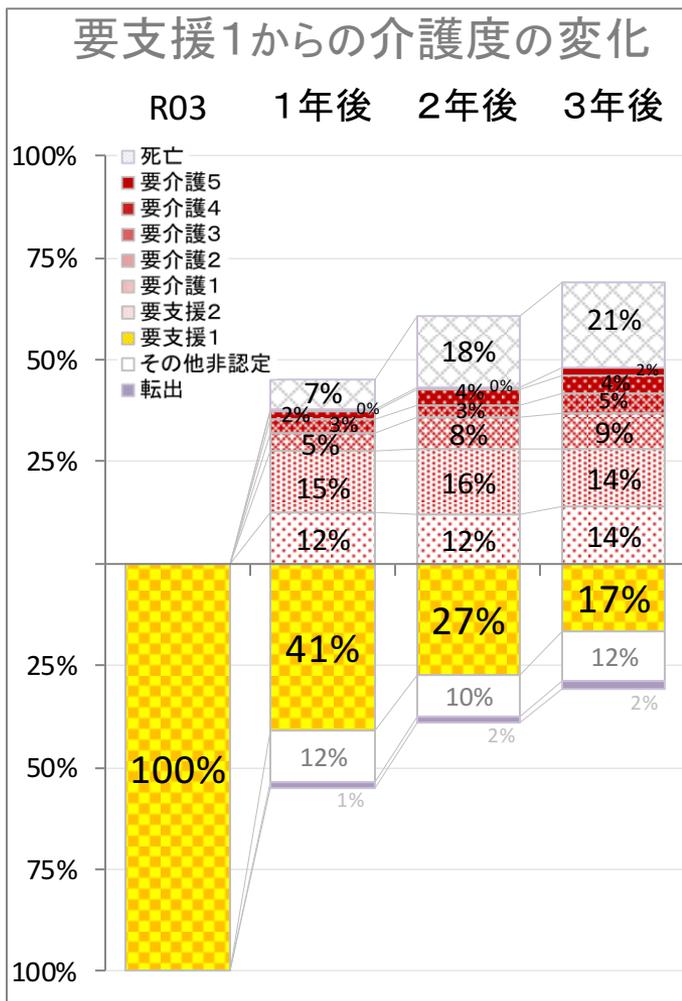
## 認定者の維持改善率・悪化率の推移



※経年比較のため、維持改善率および悪化率については、認定期間の長さを考慮した補正をしている。

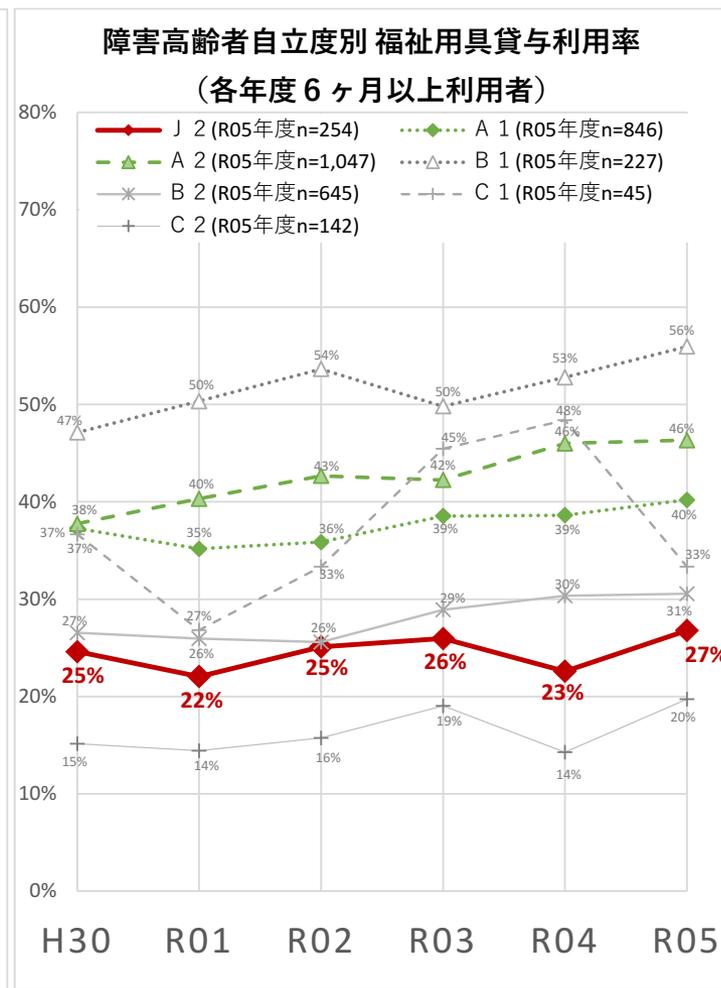
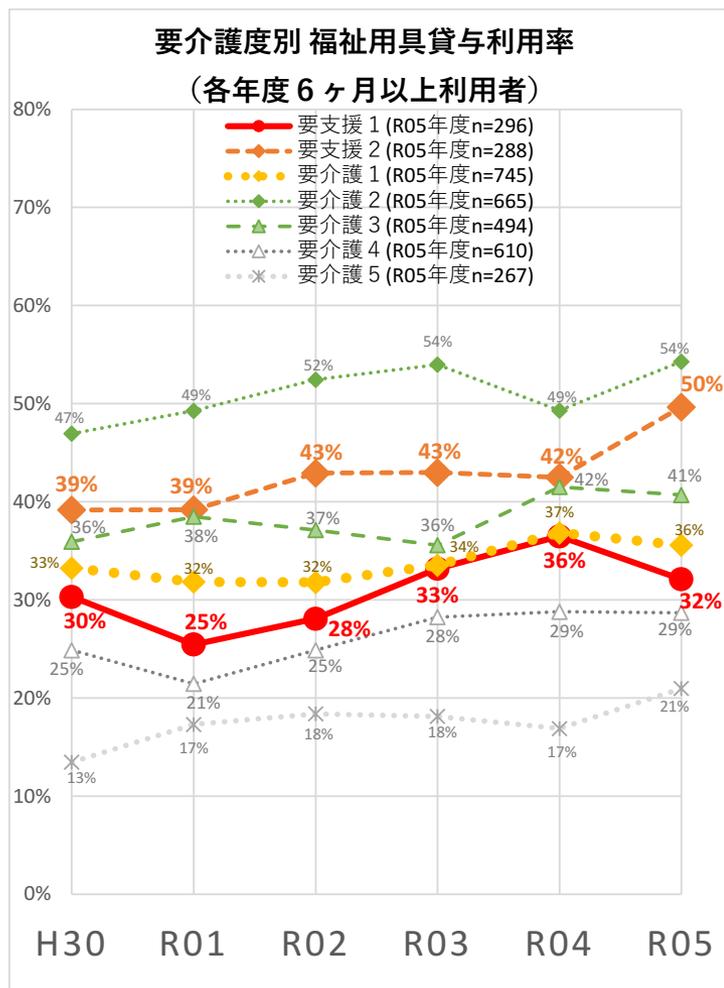
# 要支援1～2からの介護度の変化（3ヶ年度追跡）

- 令和3年4月1日に要支援1だった人のその後を追うと、**1年後にも要支援1に留まるのは41%**である。3年後には**48%の人が要支援2以上に悪化**しており、3年後の死亡者（21%）を除いて、自立などにより宇城市の介護認定を外れる人は12%である。
- 令和3年4月1日に要支援2だった人のその後を追うと、**3年後にも要支援2に留まるのは26%**であり、改善して要支援1になるのは6%である一方、**42%の人が要介護1以上に悪化**している。3年後の死亡者（20%）を除いて、自立などにより宇城市の介護認定を外れる人は4%である。



- ・令和5年度の認定者の6ヶ月以上の福祉用具貸与利用率は、**要支援1**では**32%**、**要支援2**では**50%**であった。
- ・障害高齢者自立度J2の認定者では、**27%**の利用率であった。
- ・福祉用具貸与の利用増加が必ずしも不適切とは限らないが、**福祉用具の利用が認定者の自立や重度化防止につながっているか否かや、福祉用具販売や住宅改修で代替できないかの検証は必要である。**

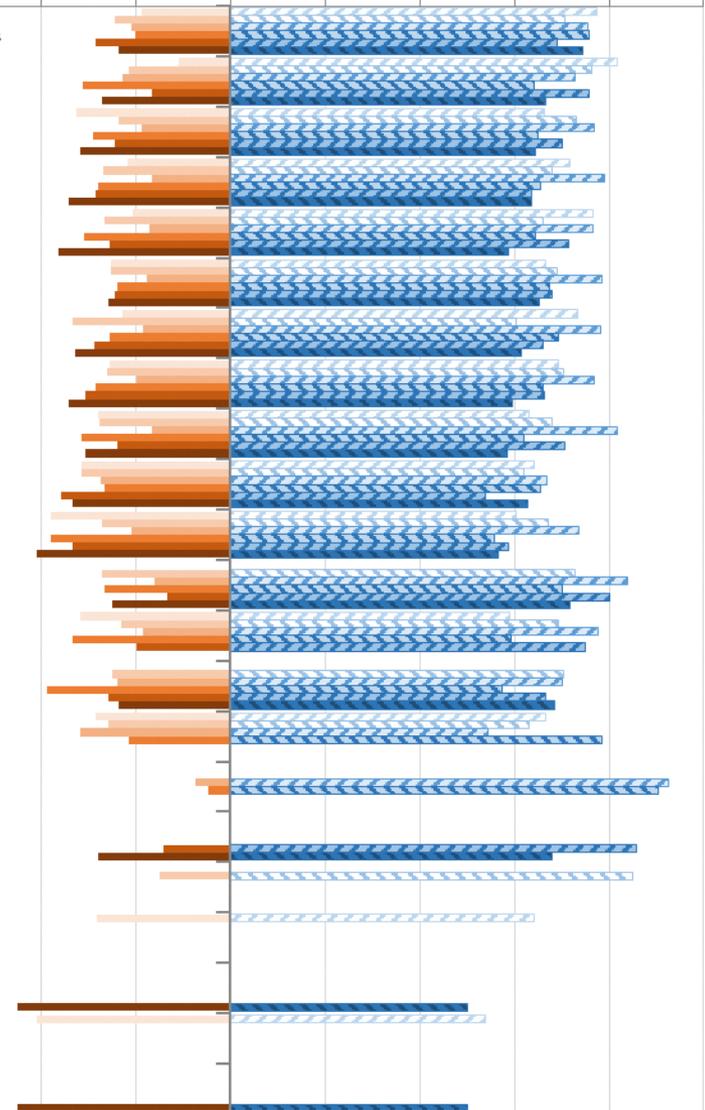
※下記グラフのC1については、対象者数が少ないため、評価、判断の材料とすることは難しい。



# 居宅介護支援・介護予防支援 事業所別 介護度変化 (経年推移)

100% 80% 60% 40% 20% 0% 20% 40% 60% 80% 100%

- ▨ H30維持改善率
- ▨ R01維持改善率
- ▨ R02維持改善率
- ▨ R03維持改善率
- ▨ R04維持改善率
- ▨ R05維持改善率
- ▨ H30悪化率
- ▨ R01悪化率
- ▨ R02悪化率
- ▨ R03悪化率
- ▨ R04悪化率
- ▨ R05悪化率



◎6ヶ年度とも維持改善率が市平均を上回る事業所

↓  
1ヶ所

▲6ヶ年度とも維持改善率が市平均を下回る事業所

↓  
2ヶ所

前年度より悪化率が1%以上減少した事業所

↓  
3ヶ所

◎ 分析対象期間全年度において平均を上回る事業所、▲ 分析対象期間全年度において平均を下回る事業所  
 ※各事業所ごとに、年度内6ヶ月以上利用者について、維持改善率を集計。  
 年度内に集計対象となる利用者数が**20人未満**となる場合は、グラフ上で表示していない。

# 通所介護 事業所別 介護度変化（経年推移）

※「〇〇%」は事業所と同一建物の平均利用者率

100% 80% 60% 40% 20% 0% 20% 40% 60% 80% 100%

◎6ヶ年度とも維持改善率が市平均を上回る事業所

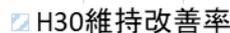
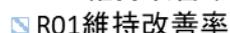
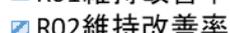
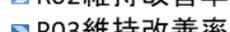
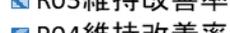
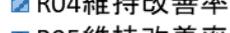
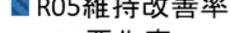
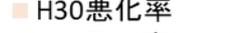
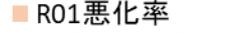
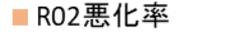
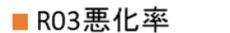
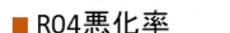
↓  
2ヶ所

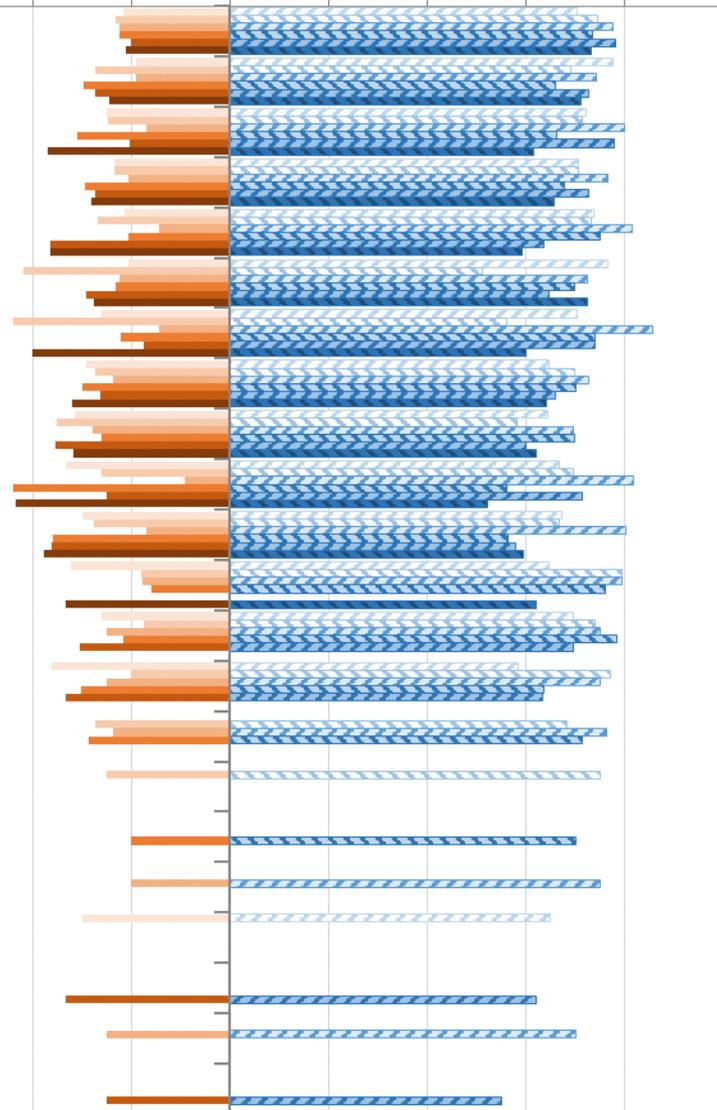
▲6ヶ年度とも維持改善率が市平均を下回る事業所

↓  
0ヶ所

前年度より悪化率が1%以上減少した事業所

↓  
3ヶ所

-  H30維持改善率
-  R01維持改善率
-  R02維持改善率
-  R03維持改善率
-  R04維持改善率
-  R05維持改善率
-  H30悪化率
-  R01悪化率
-  R02悪化率
-  R03悪化率
-  R04悪化率
-  R05悪化率



注：通所系事業所は、居住者の建物と同一の敷地でも、渡り廊下等でつながっていないと「同一建物」とは見なされない。

◎ 分析対象期間全年度において平均を上回る事業所、▲ 分析対象期間全年度において平均を下回る事業所

※各事業所ごとに、年度内6ヶ月以上利用者について、維持改善率を集計。

年度内に集計対象となる利用者数が20人未満となる場合は、グラフ上で表示していない。

# 通所リハビリ 事業所別 介護度変化 (経年推移)

100% 80% 60% 40% 20% 0% 20% 40% 60% 80% 100%

◎6ヶ年度とも維持改善率が市平均を上回る事業所

↓  
1ヶ所

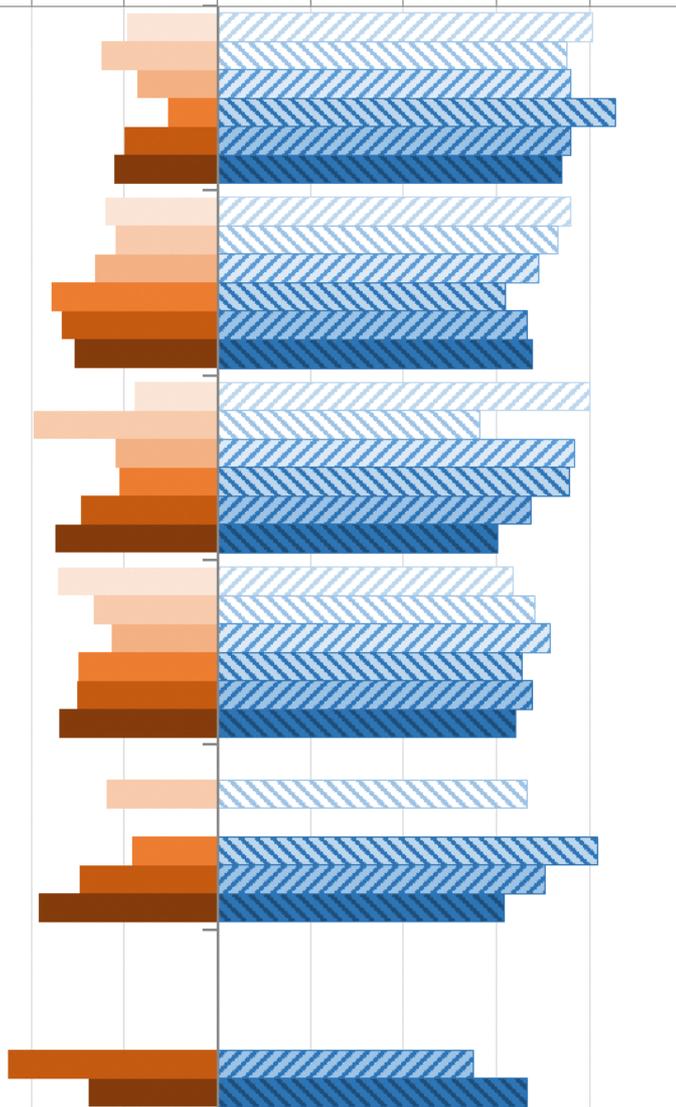
▲6ヶ年度とも維持改善率が市平均を下回る事業所

↓  
0ヶ所

前年度より悪化率が1%以上減少した事業所

↓  
2ヶ所

- H30維持改善率
- R01維持改善率
- R02維持改善率
- R03維持改善率
- R04維持改善率
- R05維持改善率
- H30悪化率
- R01悪化率
- R02悪化率
- R03悪化率
- R04悪化率
- R05悪化率



◎ 分析対象期間全年度において平均を上回る事業所、▲ 分析対象期間全年度において平均を下回る事業所  
 ※各事業所ごとに、年度内6ヶ月以上利用者について、維持改善率を集計。  
 年度内に集計対象となる利用者数が20人未満となる場合は、グラフ上で表示していない。

# 小規模多機能 事業所別 介護度変化 (経年推移)

100% 80% 60% 40% 20% 0% 20% 40% 60% 80% 100%

◎6ヶ年度とも維持改善率が市平均を上回る事業所

↓  
0ヶ所

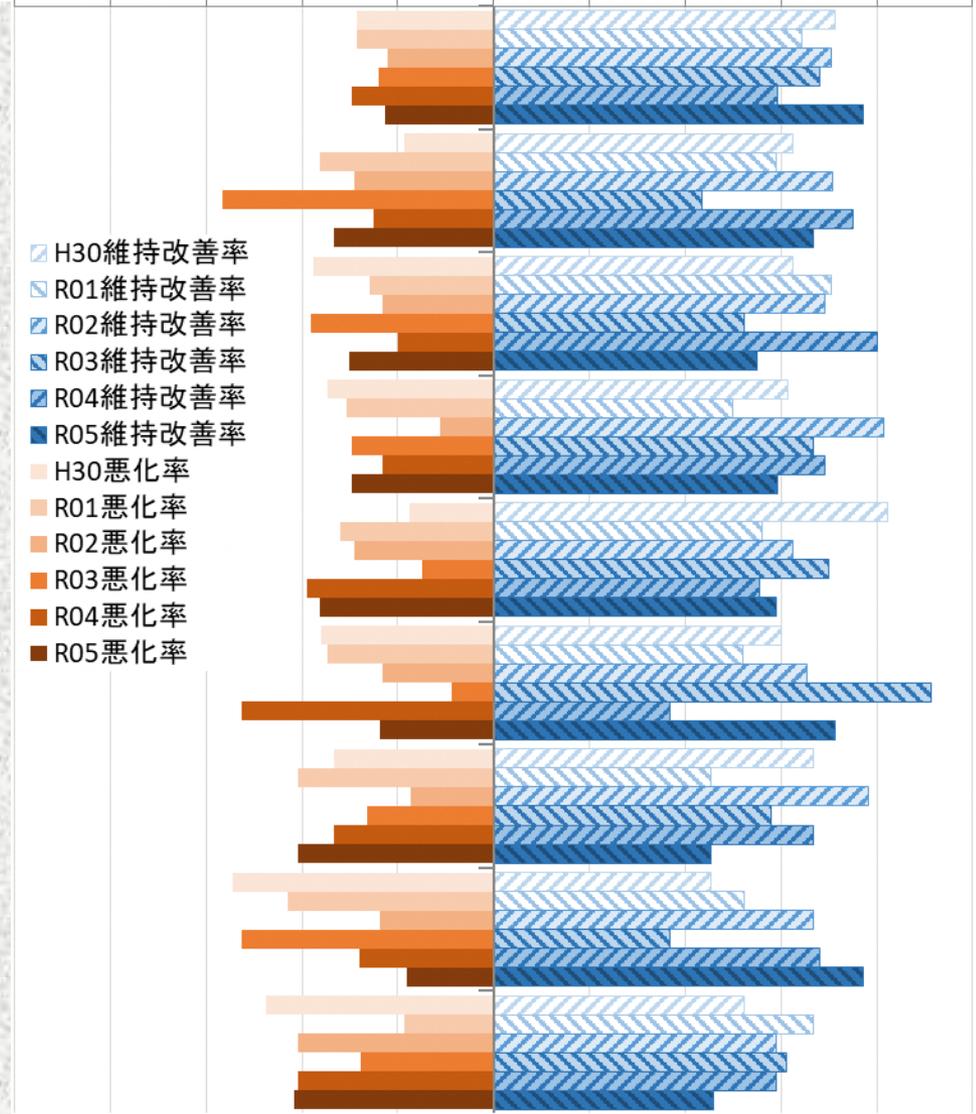
▲6ヶ年度とも維持改善率が市平均を下回る事業所

↓  
0ヶ所

前年度より悪化率が1%以上減少した事業所

↓  
4ヶ所

- H30維持改善率
- R01維持改善率
- R02維持改善率
- R03維持改善率
- R04維持改善率
- R05維持改善率
- H30悪化率
- R01悪化率
- R02悪化率
- R03悪化率
- R04悪化率
- R05悪化率



◎ 分析対象期間全年度において平均を上回る事業所、▲ 分析対象期間全年度において平均を下回る事業所  
 ※ 年度内6ヶ月以上利用者数10人以上の事業所について、維持改善率・悪化率を集計した。  
 年度内に集計対象となる利用者数が**10人未満**となる場合は、グラフ上で表示していない。